

沼津高架 P I プロジェクト



Step 3 の成果 代替素案（論点ごと）

【第10回 P I 委員会】

テーマ 広域レベル

沼津市内に貨物駅がある

A 鉄道貨物駅が原地区に移転する場合

現在の計画とおり貨物駅を原地区へ移転する案

B 鉄道貨物駅を現位置で存続させる場合

沼津駅付近の鉄道を高架化せず、貨物駅を現位置で存続する案

沼津市内に貨物駅がない

C 鉄道貨物駅を近傍駅へ統合する場合

貨物駅を近傍の貨物駅(富士駅、吉原駅など)へ統合する案

その他

D その他の場合

貨物駅の「荷役機能」と「待避機能」を分離し、それぞれ別の場所へ移転する案 など

テーマ 地区レベル(沼津駅周辺)

(現計画)

沼A-1 総合整備型 第1案

総合整備事業を実施して、
目標達成を目指す

同水準の基盤整備を行う

沼B-1 個別対応型 第1案

総合整備事業を実施しないで、
目標達成を目指す

趨勢比較ケース

新たな整備を行わない

沼A-1に効果を高める取組みを追加する

沼A-2 総合整備型 第2案

マネジメント、土地の高度利用など

沼B-1に比べ、幹線道路等の整備を絞り込む

沼B-2 個別対応型 第2案

オーバースタック4本と橋上駅

沼B-3 個別対応型 第3案

オーバースタック1本と橋上駅

沼B-4 個別対応型 第4案

アンダーパス2本の改修と橋上駅

沼B-5 個別対応型 第5案

橋上駅のみ

沼B-6 個別対応型 第6案

自由通路のみ

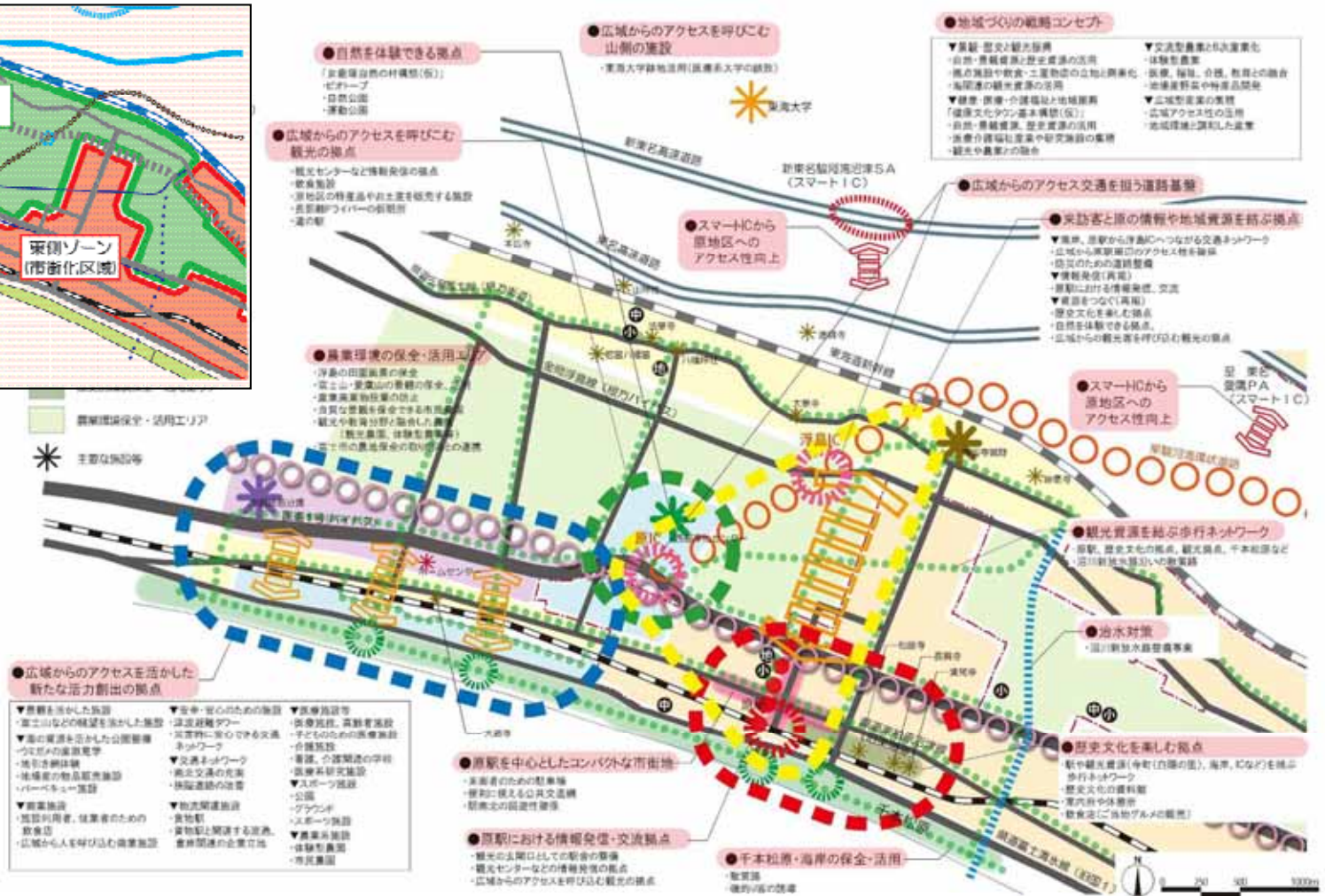
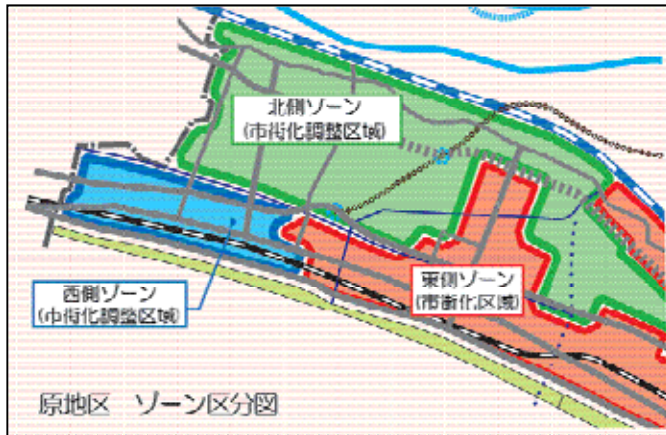
沼A-3 総合整備型 第3案

貨物駅を現位置に存続したまま高架化

沼B-7 個別対応型 第7案

車両基地の移設と橋上駅

テーマ 地区レベル(原地区)



テーマ 地区レベル(原地区)

西側ゾーンにおける戦略案(代替案)

広域からのアクセスを活かした新たな活力創出の拠点

原A 物流機能を活用した全体整備案

鉄道貨物駅の物流機能を活用して、倉庫や流通・加工などの物流関連産業の企業立地と雇用創出を狙う。貨物駅南側のエリアを中心に基盤整備を行い、物流関連産業誘致のほかに、医療・健康や観光・文化、防災機能の導入を図る。

原B 種地を活かした先行的機能導入案

まずは、すでに取得されている鉄道貨物駅予定地の全部または一部を使って、広域アクセス性を活かした医療・健康、観光・文化、交流型農業の導入を図る。その後、貨物駅予定地の南側のエリアなどにまとまった用地を確保することで観光や商業施設の誘致を行う。

原C 小規模整備案

すでに確保されている鉄道貨物駅予定地の全部または一部を使って、広域アクセス性を活かした医療・健康、観光・文化、交流型農業の導入を図る。

趨勢比較ケース